



# 地域医療連携だより 5月号 第23号



## Topics

- 地域医療・患者支援センター  
センター長就任のご挨拶
- 消化器内科紹介
- 医局人事異動
- 年間救急車受け入れ件数3000台突破
- 地域医療・患者支援センターからのご案内

## 地域医療・患者支援センター センター長就任のご挨拶

2022年4月から高松市立みんなの病院、副院長、地域医療・患者支援センター長を拝命しました林義典です。専門領域は画像診断でございます。3年前より院長補佐として勉強して参りましたが、病院の運営や医療連携に関してまだまだ初心者の域を出ることはできておりません。

日頃は当院の診療と医療連携にご支援、ご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。当院は2018年9月に仏生山の地に開設されましたが、地域医療支援病院としての機能を果たすことができているのも地域の多くの病院、診療所、介護福祉施設等の先生方及びスタッフの皆様方のおかげです。COVID-19の影響により直接顔を合わせての連携は困難な状況ではありますが、皆様と密接に連携していきたいと考えています。

当センターが主催する研究会または講演会につきましても、先生方のご要望にお応えできるよう工夫を重ねて企画してまいります。随時開催のお知らせをさせていただきますので、多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

数多くの患者さんを紹介していただき、当院での治療に満足していただき、地元の医療機関へお返しすることが私たちの使命と考えております。安全で良質な医療をファインチームワークで提供できるように努力いたします。高松市立みんなの病院が高松市の中核病院として、急性期医療から地域包括ケアの後方支援まで対応可能な病院を目指し、診療機能の充実を図って、住民の皆様が安心してより良い医療を手軽に受けることができる病院であり続ける様に、一層の努力をしていきたいと思っております。先生方より忌憚のないご意見を頂戴できましたら幸いです。今後とも、当地域医療・患者支援センターをよろしく願います。

林 義典



## 診療内容

消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)および肝・胆・膵(肝臓、胆道、膵臓)の疾患が主な診療対象です。各種診療ガイドラインに沿った医療を提供させていただくとともに、個々のご希望やご病状に応じて最善の選択ができるよう努めています。最新の内視鏡検査・治療や、消化器癌の化学療法や放射線治療、緩和内視鏡治療も積極的に行っています。

## スタッフ

常勤医師3名(非常勤医師など合計7名)、内視鏡技師2名、ERスタッフを中心にチーム医療を実践し、各認定取得に向けた教育体制も充実しています。



## 特色・強み

当科では、消化器病におけるコモンディーズから稀少疾患まで幅広い領域で対応させていただいています。地域の医療機関からの消化器急性疾患のご依頼は、消化器ホットラインを通じ迅速な対応を行っており、開設後4年半で240例の患者様をご紹介いただき、90%以上の受入率を維持しています。がんの中でも罹患数の多い、胃がん、大腸がんの早期診断、早期治療に力を注いでいます。また進行・再発癌に対しては、徳島大学大学院医歯薬学研究部寄付講座の腫瘍内科医の協力を受けて最新のエビデンスに基づいた化学療法を行っています。さらに消化管・胆道ステントや薬物療法などによる緩和医療など、ご高齢の方も含めまして癌患者さんをトータルに診療しています。消化器内視鏡に関しては、保険診療における内視鏡時の苦痛軽減のため、鎮静剤・鎮痛剤を希望や状態に応じて使用していますので、安楽に検査をお受けいただけます。

## 内視鏡センターにおけるコロナ感染対策について

2020年5月の県内緊急事態宣言時に2週間ほど検査の上部消化管内視鏡検査を中断しましたが、以降スタンダードプリコーションを徹底し、日本消化器内視鏡学会・日本人間ドック学会からの指針・ガイドラインを遵守し、当院内視鏡センターでの検査を介した感染者は現在まで確認されていません。引き続き、スタッフ一同感染対策に留意して参ります。

## 各学会認定専門医(非常勤医師等を含む)

- 日本内科学会総合内科専門医 3名
- 日本内科学会認定内科医 3名
- 日本消化器病学会専門医 6名
- 日本消化器内視鏡学会専門医 6名
- 日本肝臓学会専門医 3名
- 日本ヘリコバクター学会認定医 2名
- 日本がん治療学会認定医 2名
- 日本病態栄養学会専門医 1名
- 日本静脈経腸栄養学会認定医 1名
- 日本消化管学会胃腸科専門医 1名
- 日本臨床腫瘍学会専門医 1名
- 日本カプセル内視鏡学会認定医 1名

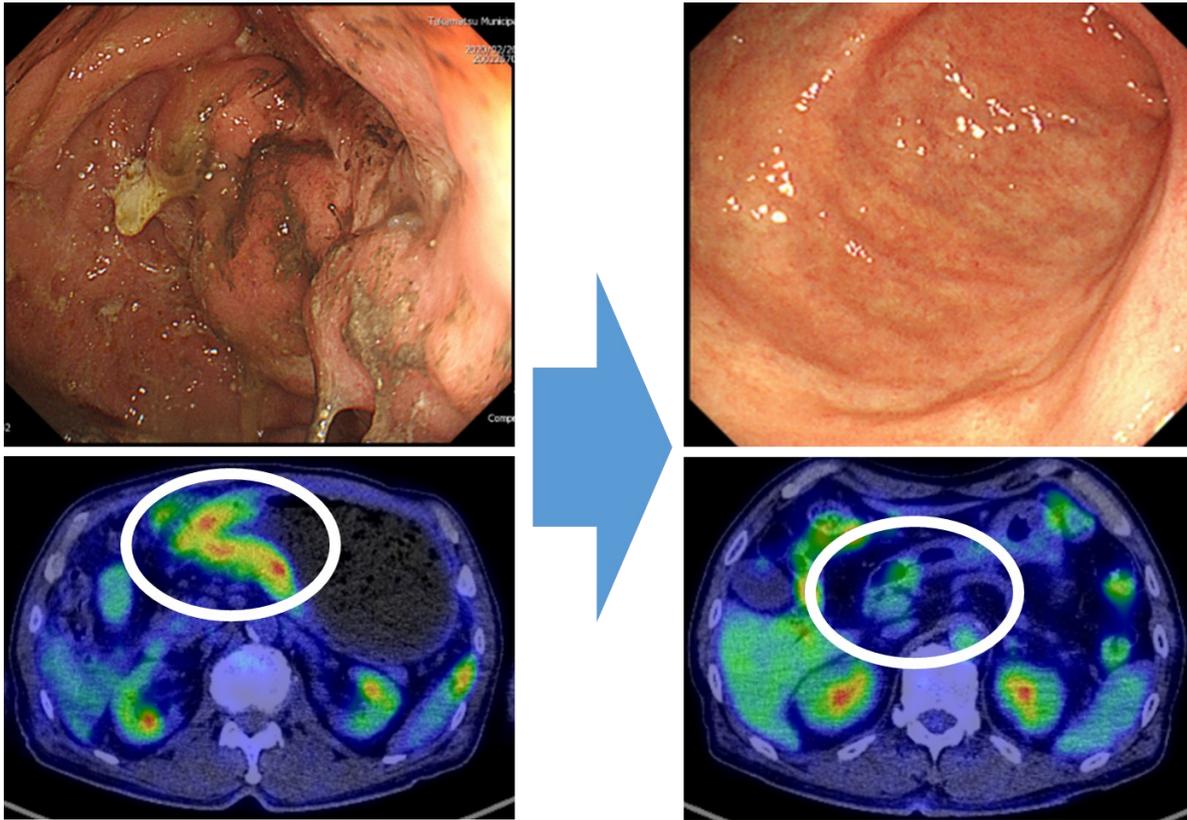
## 学会の認定

- 日本消化器病学会認定施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

(文責 六車 直樹)



## 症例 胃前庭部癌、周囲腹膜炎が化学療法にて完全寛解



## 診療実績

	2020年度	2021年度		2020年度	2021年度
外来患者数	6,658	6,773	上部消化管内視鏡検査(一般)	1,322	1,247
入院患者数	7,084	6,806	上部消化管内視鏡検査(ドック、 胃がん検診)	1,147	1,352
初診患者	996	1,165	EUS-FNA	10	5
初診紹介数	616	724	胃瘻造設	42	45
紹介率	77	83	上部消化管ESD	22	18
逆紹介数	951	980	大腸内視鏡検査	471	489
逆紹介率	125	116	大腸EMR・ポリペクトミー	203	245
			大腸ESD	12	5
			ERCP	120	145

## 外来担当表

	月	火	水	木	金
午前	平尾 章博	田中 育太	徳島大学特任教授 佐藤 康史	平尾 章博	田中 育太
午後	六車 直樹	内藤 裕士	徳島大学特任教授 佐藤 康史	六車 直樹	内藤 裕士



# 医局人事異動

## 昇任

副院長	林 義典
医療局長・診療部長	居村 暁
診療部長	中川 靖士
診療部長	山口 由紀
診療部長	大江 剛

## 転入

内科	川地 紘通
消化器内科	内藤 裕士
小児科	福良 翔子
耳鼻咽喉科	両角 遼太
麻酔科	佐々木 秀人

## 転出

副院長	長町 顕弘
消化器内科	藤井 祥平
整形外科	橋本 采佳
小児科	中野 睦基
耳鼻咽喉科	大西 皓貴
麻酔科	前田 悠樹



## 「年間救急車受け入れ件数3000台突破」

当院は、平成30年9月に高松市立みんなの病院として仏生山に新築移転した際、救急科およびER（救急病棟）を新設し、積極的に救急患者を受け入れてきた結果、年間約2500台と順調に救急車受け入れ件数を伸ばしてきました。令和3年になっても未だ収束しないコロナ禍の影響で救急診療をセーブせざるを得ない医療機関も多い中、年間3000台超と過去最多の救急受け入れができたことに、担当医師、ERスタッフ、全ての関係者が達成感を得ることができました。本年度もできるだけ多くの救急患者を受け入れられるよう、引き続き救急医療体制の充実に努めてまいりますので、関係医療機関の先生方におかれましては、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。（救急科 居村 暁）



## 地域医療・患者支援センターからのご案内

### 第10回地域医療連携カンファレンス

日時 令和4年7月14日(木) 19時～  
 場所 JRホテルクレメント高松 玉藻の間  
 演題 「肺癌外科治療のこれから」  
 講師 徳島大学大学院  
 胸部・内分泌・腫瘍外科学分野  
 教授 滝沢 宏光 先生

お申込みはこちらから→



### 第69回地域医療連携セミナー

日時 令和4年6月15日(水) 19時～  
 場所 みんなのホールよりWEB配信(ZOOM)  
 演題 「大腸がんの予防と早期診断」  
 講師 消化器内科  
 院長 六車 直樹 先生

お申込みはこちらから→

